



1080

76
6301

爵位發行順序

一 華族令ハ内閣府ノ管轄ニシテ

一 同日官内省ニ属シ

一 爵位記ニ加名スル者ハ先授爵位シテ其他ハ

一 宣下シ受任官有爵者ハ

一 叙

一 叙

宮内省

4-4-8
條

1080

6
6301

爵位發行順序

- 一 華族令ハ内閣評議ノ後元老院會議ニ被附議定上奏ヲ經ハ置爵ノ大意詔書ヲ以テ奏セラレ該令及官職勲等爵位相當表席次條例位階令等太政大臣ヨリ布告可有之事
- 一 同日宮内省ニ屬シ爵位局被置官員被置儀モ奏表セラレ正副總裁以下被任事
- 一 爵位記ニ加名スヘキ者ハ先授爵セラシ其他ハ爵ヲ新置スルモ華族ノ稱依然タレハ漸次調査セラテ授爵セラシ粗漏ナキヲ要ス
- 一 位階令ニ拠リ叙位セラルヘキ者勅任官ハ連ニ宣下シ奏任官有爵者ハ漸次調査セラ昇叙セラルヘシ



去
水
五
味
均
平
蔵



- 一 爵位局官員ハ可成本官アル者官内者式部寮法制局類ヲシテ兼任セシメ議定官ハ麁香間誥ノ人ヲ之ニ任シ其他ハ議官官内卿輔侍補等ノ内ヨリ兼任セシムヘシ
- 一 爵位局事務漸整頓ノ後麁香間誥華族部長局ヲ廢スヘシ
- 一 爵記ノ用紙ハ輪廓花紋大率勳記ト同シク之其寸法ハ美濃紙ノ大サニシテ可ナリ
- 一 位記ノ用紙ハ舊ニ依ル

一 華族會ハ内閣ヲ兼テ設ケル

爵位記式

一 爵記式如左

天祐ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐タル日本國皇帝ハ何官何位勳何等氏名ニ世襲終身何爵ヲ授ク仍テ汝ハ此爵ニ屬スル接遇ヲ受ルコトヲ得ヘシ
 神武天皇即位紀元二千五百卅何年
 明治十何年何月何日東京皇居ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐ス

宮内省

御諱

大日本
國璽

爵位
局印

何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名
何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名
何官兼爵位局等主事何爵何位勳何等氏名

一品及勅授位記式如左

何官何
品勳何等
爵何位勳何等氏名

叙何
位品

御諱

天皇
御璽

何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名
何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名
何官兼爵位局一等主事何爵何位勳何等氏名

明治

十爵位
局印

年何月何日

一 奏授位記式如左

叙何位

何官何爵何位勳何等氏名

奉勅

何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名

奉行

何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名

明治十年

何年

何月何日

一 判授位記式如左

叙何位

何官何爵何位勳何等氏名

何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名

何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名

明治十年

何年

何月何日

爵位局職制

総裁

一員

三職勅任官ノ内之ヲ兼任ス

一等官

本局ノ官員ヲ統ヘ局中一切ノ事務ヲ総理ス
局中官員奏任以上ノ進退ハ具状シ判任以下ハ之ヲ專行ス

爵位授敘會議ノ時ハ議長タルヘシ

章程ニ掲記シタル事項ハ皆其責ニ任ス

副総裁

一員

勅任官ノ内之ヲ兼任ス

二等官

職掌總裁ニ同シ

爵位授敘會議ノ時ハ議定官ノ席ニ就キ可否ヲ討論ス
総裁闕席ノ時ハ代テ議長トナル

議定官

無定員

兼任或ハ專任ス

三等官

爵位^授ノ會議ニ列シ授叙ノ當否及其規則ヲ
議定スルコトヲ掌ル

總裁副總裁閣席ノ時ハ内一員之ヲ代理スルヲ
得

一等主事

四等官

二等主事

五等官

總裁副總裁ノ指令ヲ受ケ局中ノ事務ヲ管理シ
局印ヲ監守ス

一等秘書

六等官

二等秘書

七等官

總裁副總裁ノ指令ヲ受ケ局中事務ヲ分任シ
文書及會計ノ事ヲ掌ル

一等掌記

八等官

二等掌記

九等官

三等掌記

十等官

四等掌記

十一等官

五等掌記

十二等官

六等掌記

十三等官

七等掌記

十四等官

八等掌記

十五等官

九等掌記

十六等官

十等掌記

十七等官

主事秘書ノ指令ヲ承ケ局中ノ課務ヲ分掌ス

爵位局章程

本局ハ親王諸王ノ叙品及諸臣ノ爵位ヲ授叙

スルコトヲ議定シ華族令位階令ヲ執行シ爵位ヲ有スル者ニ關係スル事件ヲ管理シ有爵者ノ諸願伺届ヲ處理シ其身家ヲ保護スル等ノ事務ヲ掌ル

第一條

爵位ヲ授叙スヘキ者ヲ調査シ奏授以上ノ者ハ之ヲ上申シ其判授ニ係ル者ハ直ニ之ヲ授叙スル事

第二條

爵位ヲ褫奪シ若クハ停止シ辭爵位記返上ヲ願フ者ノ理由ヲ上申スル事

第三條

華族令位階令ヲ改正スルノ意見ヲ上申スル

事

第四條

有爵位者ノ禮遇ノ制式ヲ定メ或ハ之ヲ改正スルノ意見ヲ上申スル事

第五條

事務章程ヲ改正シ又ハ本局定額金ノ豫算ヲ上申スル事

第六條

華族懲戒例ヲ増損シ又ハ之ヲ執行スルニ方リ理由ヲ上申スル事

第七條

爵位ヲ授叙褫奪停止シ或ハ其制ヲ改定シ又ハ有爵者待遇ノ規則ヲ設タル等ノ事由アル

二方り議定官ヲ會合スル事

第八條

局中掌管ノ事務ニツキ各官廳長官ト便宜
文書ヲ往復スル事

第九條

爵位ヲ有スル者へ諸達示ヲナス事

第十條

有爵者ノ諸願伺届書ヲ領受シ裁可ヲ請ヒ
或ハ各官廳へ回送スヘキ者ト專決スヘキ事
項トシ區別シ之ヲ處理スル事

第十一條

局中官員ニ課務ヲ指令シ或ハ諸課ヲ廢置
スル事

爵位局官員中總裁副總裁議定官ハ無給タルヘ
ク主事以下俸給左ノ通被定候事

一等主事 千八百圓

二等主事 千二百圓

一等秘書 千圓

二等秘書 七百圓

以上年給

一等掌記 五十圓

二等掌記 四十五圓

三等掌記 四十圓

四等掌記 三十五圓

五等掌記 三十圓

六等掌記	二十五圓
七等掌記	二十圓
八等掌記	十八圓
九等掌記	十五圓
十等掌記	十二圓
以上月給	

布告案
 公^公侯^伯子^男ノ五^三爵ヲ設ケ有爵ノ者ヲ華族
 ト稱ス
 右布告候事

華族ハ達案

公侯伯子男爵制相定候ニ付追々可被仰出勅
 有之候得共差向キ華族令充之通制定候條
 此旨授爵ノ輩ハ相達候事

華族令

第一條 公^公侯^伯ノ二^爵ヲ勅授トシ伯^伯子^男ノ三^爵
 ヲ奏授トス

第二條 凡ソ爵ハ世襲或ハ終身ノ者トス

第三條 華族ノ特ニ有スヘキ權利ハ有爵本人及
ヒ其配偶者ノミニ屬スル者トス

但一旦戸主タリシ者ニテ現今隱居シタル者現戸
主世襲爵ヲ授ケラレタル時ハ這般ニ限り特
別ニ終身現戸主ト同等ノ取扱ヲ受ケ准何
爵ト唱ヘシ

第四條 華族ハ一般爵位局ノ直管トス其民事
ニ係ル事項ニ付テハ従前ノ通其地方廳ノ管
轄タルヘシ

第五條 爵ハ該戸主ノ生存中ニ之ヲ相續スルヲ
許サス

但法律ヲ以テ爵位ヲ褫奪セラル、時ハ詮

議ヲ以テ相續人之ヲ相續スルヲ許可スルコト
アルヘシ

第六條 爵號ハ左ノ順次ニ從ヒ之ヲ相續スルヲ得
ヘシ

第一 嫡出ノ長男

第二 嫡出ノ次三男以下遞ニ順序ヲ以テス

第三 庶出ノ長次三男以下遞ニ順序ヲ以
テス

以上順次先ツ其子孫後裔ニ傳ヘ其
子孫及後裔ナキトキハ養子或ハ適
當ノ相續人ヲ選ヒ相續スルコトヲ願
出ルヲ得ヘシ女子ニ傳フルヲ許サス

第七條 左ニ記列シタル場合ニ於テハ爵號ヲ停

止スルコトアルヘシ

第一 不良ノ職業高業ヲ為ス者ハ其營業中

第二 身代限ノ裁判ヲ受ケタルモノハ其負債ノ償還済ニ至ル迄ノ時間

第三 著シキ不行跡アル者ハ一ヶ年以上五ヶ年以下

第八條 貧困若クハ他ノ事故アリテ華族ノ体面ヲ保有スルコト能ハサル者ハ爵ヲ辞スルコトヲ得

第九條 華族ノ座位ハ總テ位階令ニ定ムル所ニ從フ

第十條 現今女戸主タル者ハ婿夫或ハ相續人ヲ

(三六)

見立授爵願出ヘシ

第十一條 従前華族ニ係ル告達類本条例ニ抵触スル者ハ一切廢止タルヘシ

内規

世襲公爵ヲ授クヘキ者如左

第一 今後皇族ヨリ人臣ニ列ヤル者

第二 舊五攝家舊靜岡藩主

第三 國家ニ偉勳アル華族

終身公爵ヲ授クヘキ者如左

第一 國家ニ勲勞アル華族

第二 伯爵ノ輩滿五年以上勅任官任歴ノ者ノ

中ヨリ特選

第三 伯爵ノ輩齡七十以上ニ至ル者ノ中ヨリ特選

世襲伯爵ヲ授クヘキ者如左

第一 百年以上家ヲ起セル華族

第二 東西本願寺住職

終身伯爵ヲ授クヘキ者如左

第一 國家ニ偉勳アル士族平民

第二 男爵ノ輩滿十年以上勅任官經歷ノ者ノ
中ヨリ特選

第三 男爵ノ輩 齡七十以上ニ至ル者ノ中ヨリ特
選

世襲男爵ヲ授クヘキ者如左

第一 百年以下家ヲ起セル華族

第二 元官殿上人小森細川藤島舊大外記

第三 元高家交代寄合

第四 舊藩主一門ノ高一萬石以上ノ者及ヒ高一
萬石以上ノ家臣

終身男爵ヲ授クヘキ者如左

第一 國家ニ勲勞アル士族平民

第二 勅任官滿十五年以上經歷ノ者

第三 奏任官滿二十年以上經歷ノ者ノ中ヨリ
特選

第四 帝室貴戚ノ者ノ中ヨリ特選

一有爵者ノ嫡子孫滿丁年以上ニ至ル時ハ其父或
ハ祖父ヨリ一級下ノ爵ヲ授ク

一右ノ外猶特旨ヲ以テ世襲或ハ終身ノ爵ヲ授ケラ
ル、コトモアルベシ

凡ツ同席相當ノ者ハ官廳ノ順次ニ從ヒ同官ハ
位次ヲ以テ之同位ハ叙日ノ前後ヲ以テス若シ同
官同位ニシテ勲等ヲ有セル者ハ即ケ席次表ト
比較シ勲等其位ヨリ高キトキハ其故ヲ以テ上
ニ列ス

第五條

有官無位ノ者ハ任官ノ前後ヲ以テ之允請降官
ノ者ハ前官ノ任日ヲ以テ本官ノ席ヲ保ツ其前
官ニ復スル時モ亦此例ニ依ル

第六條

有位ノ者同日昇位スル時ハ其前位ノ上下ニ依リ本
位ノ次席ヲ定メ每位ノ者同日叙位スレハ年齢月
日ノ多ク少ク以テ上下ヲ定ム

第七條

允請降位ノ者ハ本位中ノ上ニ列ス若シ數人アレハ
其前位ノ上下ヲ以テ次序ヲ定ム

第八條

復位宣下ノ者ハ前席ヲ保ツ

第九條

任叙ハ宣旨位記ノ日月ヲ以テ証據トス

第十條

同勲等ノ者ハ位ノ高下ニ依ル

第十一條

欽定席次表及ヒ此條例ニ從ヒ定ムル席次録ハ每
年兩圓式部省ヨリ刊行報告スヘシ

第十二條

此條例ニ矛盾スル従前ノ布告布達類ハ都テ廢

止ス

Blank lined area for handwritten notes.

表

次

席

定

欽

位

品

考勲

爵

職官

院使

諸官

辨

王

各官廳一考勲一等官順次尤之通被定候條此王
布達候事

正二正八位從八位太初位少初位

以上判授

大講義中講義少講義訓導
權人講義權中講義權中講義權訓導

逆判任

太監
十等官十等官十四等官十等官
十等官十等官十五等官十等官

以上判任

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

参議	元老院副議長	諸省卿
元老院幹事	元老院議長	大審院長
開拓使長官		

公卿ノ授クヘキ者
 一 今後皇族ヨリ人臣ニ列セラル者
 一 舊五攝家舊静岡藩主
 一 國家ニ偉勲アル華族
 侯爵ヲ授クヘキ者
 一 舊清華
 一 舊現高十萬石以上藩主
 一 國家ニ勲功アル華族
 伯爵ヲ授クヘキ者
 一 舊堂上従一位又ハ権大納言ニ昇リシ家格者
 及西大谷

授爵規則

公卿ノ授クヘキ者

- 一 今後皇族ヨリ人臣ニ列セラル者
- 一 舊五攝家舊静岡藩主
- 一 國家ニ偉勲アル華族

侯爵ヲ授クヘキ者

- 一 舊清華
- 一 舊現高十萬石以上藩主
- 一 國家ニ勲功アル華族

伯爵ヲ授クヘキ者

- 一 舊堂上従一位又ハ権大納言ニ昇リシ家格者
- 及西大谷

- 一 舊現高五萬石以上藩主
- 一 國家ニ功勞アル華族
- 一 國家ニ偉勲アル士族
- 子爵ヲ授クヘキ者

- 一 百年以上家ヲ起セル華族
- 一 國家ニ功アル華族
- 一 國家ニ勲功アル士族
- 一 國家ニ偉勲アル平民
- 男爵ヲ授クヘキ者

- 一 百年以下家ヲ起セル華族
- 一 元交代寄合元高家
- 一 元官殿上人十森細川藤島
- 一 舊藩主一門ノ元高一萬石以上及高一萬石以上

ノ陪臣

- 一 國家ニ功勞アル士族
- 一 國家ニ勲功アル平民
- 一 勅任官滿二十年經歷ノ士族平民ノ内ヨリ特選
- 一 前項ハ皆世襲爵トス終身爵ハ特旨ヲ以テ之ヲ授ク
- 一 有爵者ノ嫡子嫡孫滿丁年ニ至レハ父或ハ祖父ヨリ一級下ノ爵ヲ授ク若シ其格ニ合セサル者ハ叙位セラルヘシ
- 一 前項記列外尚ホ事宜ニ應シ特旨ヲ以テ授爵セラルコトアルヘシ

何れも
下々
何れも
下々

布告案

公候伯子男ノ五爵ヲ設ケ有爵ノ者ヲ華族
ト稱ス
右布告候事

華族ノ達案

公候伯子男ノ五爵被設候ニ付華族令左ノ
通制定候條此旨相達候事

官
の
官

一 公候伯子男ノ五爵被設候ニ付
一 國族ノ名義ハ公候伯子男ノ五爵
一 國族ノ名義ハ公候伯子男ノ五爵
一 國族ノ名義ハ公候伯子男ノ五爵

華族令

第一條 公侯伯子男ノ五爵皆勅授トス

第二條 凡ソ爵ハ世襲或ハ終身ノ者トス

第三條 華族ノ特ニ有スヘキ權利ハ有爵本人

及ヒ其配偶者ノニニ屬ス

但一旦戸主タリシ者ニテ現今隠居シタル者

現戸主世襲爵ヲ授ケラレシ時ハ這般ニ限

リ終身現戸主同等ノ取扱ヲ受ケ准何爵

ト唱フヘシ

第四條 華族ニ般宮内省ノ直管トス其民事ニ係

ル事項ニ付テハ其地方廳ノ管轄タルヘシ

第五條 爵ハ諛戸主ノ生存中ニ相續スルヲ許

サス

但法律ヲ以テ爵位ヲ褫奪セラル、時ハ詮議ヲ以テ相續スルコトヲ許可ス

第六條 爵号ハ左ノ順次ニ從ヒ之ヲ相續スルコトヲ得

第一嫡出ノ長男

第二嫡出ノ次三男以下遞ニ順序ヲ以テス

第三庶出ノ長次三男以下遞ニ順序ヲ以テス

以上順次先ヲ其子孫後裔ニ傳ヘ其子孫及ヒ

後裔ナキ時ハ適當ノ養子或ハ相續人ヲ選ニ

相續スルコトヲ願出ルヲ得女子ニ傳フルヲ許サス

第七條 左ニ記列シタル場合ニ於テハ爵号ヲ停止スルコトアルヘシ

第一 不良ノ職業商業ヲ為ス者ハ其營業中

第二 身代限ノ裁判ヲ受ケタル者ハ其負債ノ

償還ニ至ル迄ノ間

第八條 貧困若クハ著シキ不行狀アリテ華族ノ

體面ヲ保有スルコト能ハサル者ハ爵ヲ辭スル

コトヲ得

第九條 華族ノ生次ハ總テ欽定席次條例ニ定

ムル所ニ從フ

第十條 現今女戸主タル者ハ婿夫或ハ相續人ヲ

見立授爵願出ヘシ

第十一條 従前華族ニ係ル告違類本令ニ抵觸スル者ハ一切廢止ス

品位令

總則

第一條 品ハ一品ヨリ四品ニ至ルノ四階ニシテ總テ

勅叙トシ親王ニ限り之ニ叙ス

第二條 位階ハ一位ヨリ初位ニ至リ其八位以上ハ

每位正從ヲ設ケ初位ハ大少ヲ分ケ總テ十八階

其一二三位ノ六階ヲ勅叙トシ四五六位ノ六階ヲ

奏叙トシ七八初位ノ六階ヲ判叙トス

第三條 凡ソ品位ハ懲戒例及ヒ刑律ニ因リ褫奪

セララル、外終身之ヲ有ス

第四條 無官職ニシテ有位ノ者之ヲ散位ト稱ス

官人叙位ノ事

第五條 凡ソ勅奏任官ニ任セラレタル者ハ即日極

叙ヨリ三階下ノ位ニ叙シ昇等スル時ハ其等ニ準シ
即日進叙スヘシ

例ハハ四等官正五位ノ者三等官ニ昇進スル時
ハ即日従四位ニ叙スルノ類ヲ云フ

第六條 勅奏任官トモ叙位ノ後階ヲ進メ極叙ニ
至テ止ム其中間ノ年期ハ官人叙位進階例圖
ニ照準スヘシ

第七條 判事檢事ハ其年期俸ヲ以テ官等ニ比擬
シ左ノ例ニ準シ叙位進階スヘシ

四千五百圓	二等官
四千二百圓	三等官
三千五百圓	四等官
三千圓	五等官
二千四百圓	
二千圓	

千八百圓	六等官
千五百圓	七等官
千二百圓	奏任八等官
九百六十圓	
七百八十圓	
六百六十圓	

第八條 出仕ハ總テ叙位セズ其任官シタル時ハ出
仕中ノ年期ヲ加算シテ叙位スヘシ

第九條 廢官及ヒ辭職等ノ後再ヒ任官スル者
ハ前後ヲ通算シテ現在ノ官等ニ依リ叙位スヘ
シ

第十條 下等ノ官ヨリ中間年期内數等ヲ累進
スル者ハ前後ヲ通算シテ現在ノ官等ニ依リ叙
位スヘシ

第十一條 懲戒例ノ處分ヲ受ケタル者ハ左ノ規則
ニ因リ年期ヲ減スヘシ

譴責

一箇年

罰俸

二箇年

第十二條 官人叙位進階例圖左ノ如シ

極叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位
大臣初叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位
中階初叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位
大臣初叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位
中階初叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位
初叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位
官初叙	從一位	正二位	從二位	正三位	從三位	正四位	從四位	正五位	從五位	正六位	從六位	正七位	從七位

第十三條 滿十年以上奉職シタル判任官ハ其廳長官

ノ上請ニヨリ左ノ例ニ準テ叙位セラルコトアルヘシ

八等官 正八位

九等官 正八位
十等官 從八位
十一等官 從八位
十二等官 從八位

大初位

少初位

雜則

第十四條 凡ソ進階中間年期ハ位記々載ノ日次ヨリ起算スヘシ

第十五條 諸王女官教導職及ヒ皇族勅任官貴戚ノ妻叙位規則ハ追テ定ムヘシ

第十六條 官吏ニ非スト雖モ國家ニ功勞アル者並ニ其子孫又ハ學術ニ通達スル者公衆ノ利益ヲ圖ル者ハ叙位セラルヘシ

第十七條 凡ソ特命抽賞若クハ進贈ニ係ル者ハ都テ本令ノ外トス

第十八條 凡ソ奏叙位以上ノ者在京ノ時ハ三大節及
ヒ其他ノ祝日ニハ式部頭ノ通達ヲ得テ皇居へ
参賀シ時宜コヨリ謁見ヲ得ルモノトス其各地方
ニ在ル者ハ式部頭ヲ經テ賀表ヲ上ルヘシ

第十九條 凡ソ判叙ノ位記ヲ有スル者ハ其在京ノ時ハ
三大節及ヒ其他ノ祝日ニハ式部頭ノ通達ヲ得テ
皇居へ参賀スヘシ其各地方ニ在ル者ハ地方長官
ヲ經テ賀表ヲ上ルヘシ

第二十條 各地方巡幸ノ時ニ方リ沿道居住有位ノ
者ハ行在所ニ参候シ時宜コヨリ謁見ヲ得ル者
トス

附則

一本令裁定ノ日奏任官以上ノ者總テ本令初叙ノ

位階ニ叙シ従前奉職ノ年月ハ以後中間年期ニ加
算セス

但既ニ上階ノ位ニ叙シタル者ハ現位ノ通りタルヘ
シ

官爵品位勲等性質ノ区分

一官ハ職任権義保責ノ高卑輕重廣狹ヲ定ムル
為メ其等級ヲ分ケ才能ニ應シテ補任スル者ナ
リ故ニ職務上ニ於テノ其權利ヲ保ケ身ニ属
スヘキ者ニアラサルヲ以テ官ヲ罷ムル時ハ同時
ニ其権義ニ離ル者トス但官職中其職務
ノ景状ニヨリ其身上ニ幾分ノ特權ヲ附與スル
ハ是亦唯政務上ノ便宜ニヨル者ニシテ其身ニ
属スル者ニアラス

一爵ハ族類ヲ区分シ門葉ヲ識別シ特別貴顯ノ
榮典ヲ子孫ニ及ホサシムル者ナリ故ニ皇胤ノ人
臣ニ列シタル者若クハ往時帝室邦國ニ對シ
累世功勞アル者又ハ帝室邦國ノ為メ一時偉勲

ヲ奏シタル者ニ 天皇陛下ノ特旨ヲ以テ之ヲ附
與シ永ク帝室ノ保障タル者ナレバ朝儀官儀
上諸式禮ノ節其地位ヲ保テ加之法律若クハ
ハ條例ニ定メタル場合ヲ除クノ外ハ永世其地位ヲ
有シテ家門ヲ輝カシ変易スルコトナシ時トシテ
ハ特旨ヲ以テ格段ノ待遇ヲ得ルコトアリ
一品ハ位ト殊ナルコトナシ然レトモ親王ニアラサレハ
之ニ叙スルヲ得ス

一位ハ唯朝儀官儀上其坐次ヲ定ムル耳ナラス一般
社會ニ對シテモ自ラ其席次ヲ有ス故ニ有官有爵
者ニ於テ凡ソ朝儀官儀ニ關スル者ハ皆豫メ相
當ノ位次ヲ設ケテ之レニ叙シ其位地ヲ得セシム其
有勲者ニ於テモ亦朝儀官儀ニ列スルヲ要スル

時ハ詮議ヲ以テ叙位スル事アリ位ハ他ノ諸權ト
異シテ法律若クハ條例ヲ以テ定メタル場合ノ外
終身之ヲ保有スルコトヲ得例ハ職官ヲ罷免
セラルハコトアリトモ一旦叙シタル位次ニ屬スルノ權
ハ依然タルガ如シ

一勲ハ官爵ノ有無高卑ニ拘ハラズ帝室若クハ
邦國ノ為メ拔群ノ功勞アル者ハ終身其功勞ヲ
旌表セシ為メニ附與スル者ナリ而シテ其勞ニ報
フ為メニハ一時着シクハ畢生金幣ヲ附與スルコト
アリ然レド又其職務ノ景状ニヨリテ其功勞ノ有
無ニ拘ハラズ信ヲ他ニ表スル為メニ之ヲ附與スル者
アリト雖ド是全ク特別詮議ニ出ル者ニシテ之ヲ
以テ他ニ比準スヘキニアラス而シテ又其勲等ノ



